




【キイトルーダ療法】

お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、**次回の治療開始を延期することがあります。**)

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
薬の名前	作用	点滴時間																					
生理食塩液																							
キイトルーダ注	抗がん剤です	30分																					
生理食塩液		15分																					

キイトルーダによる副作用

キイトルーダが免疫機能を活性化させるため、免疫がはたらき過ぎることによる副作用があらわれる可能性があります。

副作用の頻度は高くありませんが、重大な副作用も報告されています。また、治療終了後にも副作用が現れることがあります。

いつもと違う症状や気になる症状が現れた場合は、ご自身で対処せず、必ず病院へ相談してください。

現在分かっている副作用: 間質性肺疾患、大腸炎・重度の下痢、重度の皮膚障害、神経障害、肝機能障害、内分泌障害、1型糖尿病、腎機能障害、膵炎
筋炎・横紋筋融解症、重症筋無力症、心筋炎、脳炎・髄膜炎、免疫性血小板減少性紫斑病、貧血、点滴時の過敏症反応、ぶどう膜炎など



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせ下さい。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどがありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。